

海外からの研修生を受け入れました

家畜改良センター岩手牧場では、独立行政法人国際協力機構（JICA）からの要請を受け、7月26～27日に「畜産開発計画行政官の政策立案実施能力向上（幹部及び中堅行政官）」コースの8名8カ国の研修生を受け入れました。

今回の研修では、初日に当場の概要説明の後、現地研修に入り、循環型の粗飼料生産として、アルファルファ圃場の刈取実演、各種大型農機具、バイオガスプラント及び堆肥生産の視察を行いました。

2日目は高能力搾乳牛群の飼養管理として、搾乳牛の治療、搾乳施設管理、飼料調製・給与等について説明を行い、農場HACCP認定農場の実務について研修を行いました。

また、子牛の衛生管理や哺乳ロボット、繁殖管理では超音波診断装置による胎子の性別別や直腸検査について実習も含めた研修を行いました。

研修生からは、初めて見る技術もあったことから多くの質問があり、関心の高さがうかがえました。

今回の研修が、帰国後、自国の畜産業の発展に役立つことを願います。



開講式



繁殖管理研修（直腸検査）



搾乳管理研修（パラレルパーラー）



哺育管理研修（哺乳ロボット）